

大正浪漫の里を歩く

一恵那市明智町の「日本大正村」一

■大正ロマンをテーマに生まれた「日本大正村」

岐阜県恵那市明智町は中馬街道と南北街道の交差点（街道の東をたどれば飯田から塩尻、南へ下れば奥三河から岡崎への塩の道であり、西へたどれば尾張へ北は中山道に続く街道）を中心に宿場町として発展、明治から大正時代にかけて養蚕・製糸産業、窯業で栄えた町であるが、急速に過疎化が進み、1985（昭和60）年、国鉄明知線が廃線視されされるなど、町が時代に取り残されるという危機感が高まった。

こうした状況の下、大正時代、西洋文化の影響を受けた建物や生活文化の面影が強く残る町並に観光客を迎える「大正村」構想が打ち出され、住民から建設賛成の声が高まった。

そして大正ロマンをテーマに、町ぐるみでレトロパークとしての野外博物館を1984（昭和59）年に立村、昭和61年に約6万人、今年8月に開村40周年を迎え、年間約20万人の観光客が訪れるようになった。

■公益財団法人日本大正村のあゆみ

- ・1984（昭和59）年：日本大正村を立村計画
- ・1988（昭和63）年：財団法人日本大正村・開村式
- ・2011（平成23）年：大正百年改元式典・大正琴誕生百年記念の碑建立
- ・2013（平成25）年：公益財団法人日本大正村に移行
- ・2024（令和6）年：日本大正村40周年記念式典（明智かえでホール）

歴代村長は、大正村の活力あるまちづくりのため、3代に亘り村長を任命、初代村長は高峰三枝子さん、第二代村長は司葉子さん、2015（平成27）年より竹下景子さんが第三代村長に就任し、諸行事に参加、華やかな村の魅力を発信、イメージアップを図っている。

■大正村を構成する建造物

日本大正村のみどころとして以下の建造物を約2時間コースで案内している。

- ① 日本大正村観光案内所：（＝大正村事務局）
- ② 大正路地：米蔵と呉服屋の蔵にはされた路地
- ③ 大正村役場（旧明智町役場）：「国の登録有形文化財」登録、「恵那市景観重要建造物」指定
- ④ 司葉子記念館 ⑤ 大正ロマン館
- ⑥ 大正琴誕生百年記念の碑 ⑦ 旧三宅家・恵那市指定文化財
- ⑧ 大正村資料館：町長を務めた橋本幸八郎邸で、繭を保管する銀行蔵・恵那市指定文化財
- ⑨ 大正時代館
- ⑩ 大正浪漫亭



大正琴誕生百年記念の碑（2024/11/06 筆者撮影）



大正時代を再現した大正路地（2024/11/06 筆者撮影）



大正浪漫亭（2024/11/06 筆者撮影）



大正村役場（旧明智町役場）（2024/11/06 筆者撮影）

所在地：岐阜県恵那市明智町
開村時間：10:00～17:00（冬期は10:00～16:00）
定休日：年末年始（12月29日～1月3日）
観覧料：無料、村内博物館等は有料
アクセス：明知鉄道「明智駅」より徒歩約5分

（寺沢安正）